安全に関するご注意

（暖全ヒートの使用対象について）
●このカタログに掲載の暖全ヒートは、対人専用の暖房装置です。食品・動植物・精密機器・美術品の保存等の特殊用途には使用しないでください。品質低下等の原因になることがあります。また、人と動植物と共生している場合は異常停止の警報ブザーの設置等、人が暖全ヒートの運転状況を確認できる時のみ使用願います。詳しくは販売店にご相談ください。

（ご使用に際して）
●ご使用の前に、『取扱説明書』をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

（据え付けに際して）
●据え付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、感電や火災などの原因になります。
●必ずアース工事を確実に行ってください。
●別売品は、必ず当社指定の製品を使用してください。また取付工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で工事され、不備があると故障や感電、火災の原因になります。

設置に際して

●室外機の外板を開ける場合は、必ず、電源が遮断してあることを確認してから作業を開始してください。
●降雪が予想される地域では、室外機の吸込口や吹出口や底板下部が雪で閉塞する恐れがありますので、降雪や積雪、落雪で埋まらないよう底板が予想される雪面より500mm以上高くなるよう架台などに設置する。防雪フードや雪除けの屋根、囲いなどを取り付ける。後部フィンに雪が溜らないよう後部吸込グリルを外す（吸込口に防雪フードを取り付ける場合も同様）。雪が吹き溜る場所への設置を避ける。などの対策を行ってください。
●霜取り運転時に出るドレン水が凍結する恐れがありますので、室外機底板の下面に氷が成長しないよう基礎面から底板まで空間を広く取る（500mm以上推奨）。ドレン水が室外機の下方に滴下して、問題がある場合は屋根を設け、凍結の恐れがあるドレンプラグやドレン管は使用しない。などの対策を行ってください。

アフターサービスについて

●無料修理保証期間（1年）経過後の修理について
販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。当社は、暖全ヒートの補修用性能部品を製造打切後10年保有しています。

●保守点検契約のおすすめ
暖全ヒートを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。特に、ビル管理法の対象となる建物にご使用の場合は、部品によっては法で定められた定期的な点検が必要となります。詳しくはお買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

平成19年10月1日から「改正フロン回収・破壊法」が施行されました。

今まで
業務用空調機器を廃棄する際は、フロン回収を依頼し、処理費用を負担すれば、その後適正に処理されたかどうかを確認する必要はありませんでした。

平成19年10月1日から
業務用空調機器を廃棄する際は、フロンの廃棄から回収までのすべての引き渡し経緯を書類で管理し、適正に処理されたことを確認する義務が生じます。

罰　則
業務用空調機器から、みだりにフロン類を放出すると、1年以下の懲役または50万円以下の罰金が科せられます。

● 詳細は専用パンフレット（SPZ07160）をご覧ください。

●経年劣化に係る安全上の表示について
空調商品は長期使用製品安全表示制度に基づき、長期使用時の注意喚起を促す本体表示が電気用品安全法により平成21年4月1日以降義務付けられました。
（制度導入にあたり平成21年2月1日以降、一部の機種より先行して本体表示を開始しております。）

愛情点検 ■長年ご使用の暖房機の点検を！

ご使用の際、こんな症状はありませんか

- ●予熱時間が異常にながい。
- ●運転中異常な音がする。
- ●強いニオイがする。
- ●その他の異常・故障がある。

●暖全ヒートの補修用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。

使用中止
故障や事故防止のため、コンセントから電源を遮断して、必ず販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

●暖房の目安の算定は（社）日本ガス石油機器工業会の統一基準によります。●寒冷地とは、室内外温度差が30℃の地域（例えば北海道）を指し、温暖地とは、室内外温度差が15℃（例えば東京、大阪）の地域を指します。●寒冷地の木造とは、木造戸建二重窓、断熱材50mmの建物を指し、コンクリートとは、コンクリート集合住宅の二重窓、断熱材25mmの建物を指します。したがって、断熱材を木造で150mm、コンクリートで50mm施してある場合は約1.5倍の広さまで適応します。●温暖地の木造とは、木造戸建住宅、コンクリートとは、コンクリート集合住宅を指しますが、いずれも一重窓で断熱材なしの建物です。したがって、断熱材50mmを施してある場合は約2倍の広さまで適応します。●お買い求めの際は、販売店より必ず保証書をお受け取りください。●このカタログの内容についてのお問い合わせは、お近くの販売店にご相談ください。なお、販売店でおわかりにならないときは、下記のダイキンへお問い合わせください。

正しく使って上手に節約

JMI-0107
登録事業者：
ダイキン工業株式会社　空調生産本部
登録活動範囲：
業務用空調・加熱・冷却及び冷凍機器、業務用暖房機器、住宅用空調機器、全熱交換器、空気清浄機、海上コンテナ用冷凍装置、圧縮機及び弁類の設計・開発及び製造。

EC99J2044
ダイキングループは、国内全事業所と国内全子会社で環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証を取得しています。

「エコ・ファースト制度」は、業界のトップランナー企業が環境大臣に対して自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度です。ダイキン工業は空調業界で初めて「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。

ご購入には便利なダイキン ビジネスリース・安心保証リース・ビジネス延払をご利用ください。 業務用

お問合わせは下記へどうぞ。 電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようにお願いします。

ダイキン工業株式会社
ダイキン コンタクトセンター お客様総合窓口

最初に 186 をダイヤルしていただくと折り返しの連絡等がスムーズに行えます。

0120-88-1081……全国共通フリーダイヤル
FAXでのお問合わせは 0120-07-0881……FAX専用フリーダイヤル
http://www.daikincc.com……ご相談対応ホームページ

24時間365日
〈営業時間〉24時間365日対応
〈対応業務〉空調機に関するご相談・お問合わせ

ダイキン空調北海道株式会社……(011)784-5556	ダイキン空調千葉株式会社……(043)222-2011	ダイキン空調大阪株式会社……(06)6647-1377	ダイキン空調中国株式会社……(082)261-7186
ダイキン空調東北株式会社……(022)288-0222	ダイキン空調茨城株式会社……(029)244-5522	ダイキン空調神戸株式会社……(078)262-8615	ダイキン空調九州株式会社……(092)475-6204
ダイキン空調東京株式会社……(03)3374-5101	ダイキン空調新潟株式会社……(025)284-7181	ダイキン空調京滋株式会社……(075)642-3800	ダイキン空調宮崎株式会社……(0985)51-4101
ダイキン空調神奈川株式会社……(045)225-3801	ダイキン空調東海株式会社……(052)955-0721	ダイキン空調四国株式会社……(087)868-7015	ダイキン空調鹿児島株式会社……(099)267-7670
ダイキン空調関東株式会社……(048)661-2631	ダイキン空調静岡株式会社……(054)236-5310	ダイキン空調北陸株式会社……(076)249-1233	ダイキン空調沖縄株式会社……(098)859-4154

（平成21年 3月 1日現在）

ダイキン工業株式会社　空調営業本部
本　　社　〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
東京支社　〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル

掲載された内容は平成21年6月現在のものです。なお、改良のために予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承ください。

CC09306（09.06.020）SW・HP・AD